

令和7年度 政務活動費の使い道

政務活動費は、地方自治法の規定に基づいて、議員の調査研究その他の活動を行うために必要な経費の一部として、会派や議員に交付されるものです。本市議会では次のように取り扱っています。

- 議員1人につき1カ月当たり1万3000円（年額15万6000円）。
- 会派単位で交付（会派に所属しない議員は個人に交付）。
- 使い道は調査研究費、研修費、資料作成費や資料購入費など。
- 年度終了後、速やかに全支出の領収書を添付した報告書を議長に提出し、不用額は返還する。

※報告書等は市ホームページで公開していますので、どうぞご覧ください。



←ホームページでご確認ください

◆令和7年度政務活動費

会派(議員)名	人数(人)	交付額(円)	項目(円)					返還額(円)
			調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費	合計	
清新会	10	1,560,000	1,459,662	0	2,679	0	1,462,341	97,659
てんどう会 創生の会	5	780,000	667,190	30,000	1,150	79,240	777,580	2,420
清風	2	312,000	54,042	0	23	0	54,065	257,935
伊藤和子	1	156,000	0	0	0	0	0	156,000
狩野佳和	1	156,000	0	0	0	0	0	156,000
野口さつき	1	156,000	79,910	0	0	0	79,910	76,090
遠藤敬知 (議長)	1	156,000	0	0	0	0	0	156,000
合計	21	3,276,000	2,260,804	30,000	3,852	79,240	2,373,896	902,104

※会派に属しない議員（議長を含む）は、各議員への交付になります。
 ※会派の人数は、令和8年3月31日現在の人数です。

◆調査研究費、研修費の内容（先進地視察、研修会参加など）

政務活動費の使い道として、調査研究費や研修費等が認められています。これは、議員として必要な知見を高め、より良いまちづくりを進めるために、先進的な取り組みを行っている自治体の事例を調査したり、研修機関が実施する議員向けの研修会に参加したりするためのものです。

令和7年度は、各会派などで次のような調査・研修を実施しました。

会派	月日	参加人数	目的地	内容
清新会	7月22日～24日	9	北海道恵庭市 北海道仁木町 北海道千歳市	●半導体工場ラピダスの進出について ●北海道でのさくらんぼの現状について ●千歳市防災学習交流センター「そなえる」について
	1月21日～23日	10	兵庫県伊丹市 愛知県稲沢市 環境省・農林水産省(東京都)	●安全・安心見守りネットワーク事業について ●全庁的なDX推進体制とデジタル人材育成戦略について ■クマ対策について
てんどう創生の会	10月20日	3	東根市	■議員の資質向上と議会運営の基本について
	10月30日～31日	4	東京都 移住・交流情報ガーデン(同) 日本将棋連盟・将棋会館(同)	■人口減少社会における出産と子育て支援政策の問題点と課題について ●首都圏における移住・定住に関する情報発信の状況について ●将棋会館における施設等の利用状況や運営について
	1月21日～23日	5	NPO法人尾道空き家再生プロジェクト(広島県) 広島県広島市 広島市中央公園エリアマネジメント協議会(広島県)	●尾道空き家再生プロジェクトの取組みについて ●スタジアムを核とした市街地活性化について ●広島市中央公園エリアマネジメント協議会の取組みについて
清風	11月27日～29日	1	ジャパンアップル株式会社(青森県) タムラファーム株式会社(同) 地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所(同) J Aつながる弘前河東地区りんご施設(同) A-FACTORY(エーファクトリー)(同)	●日本最大級のりんご園地の運営について ●果樹の大規模化や6次産業化など先駆的な農業経営の状況について ●青森りんご栽培の課題と研究について ●最先端の選果・出荷体制について ●6次産業化による地産地消と高付加価値化について
さ野つき口	1月21日～23日	1	兵庫県伊丹市 愛知県稲沢市 環境省・農林水産省(東京都)	●安全・安心見守りネットワーク事業について ●全庁的なDX推進体制とデジタル人材育成戦略について ■クマ対策について

(●：調査研究費、■：研修費)

教えてケ□っす



Q 天童市議会でも先進地視察を受け入れてるの？

A 本市議会は全国各地から、議会の委員会やさまざまな議員の会派による視察を積極的に受け入れています。令和7年度には18の議会から合計115人が視察に訪れました。視察内容は各議会が選択する形となっていますが、昨年度で最も多かったのは「天童市子育て未来館 げんキッズ」に関する視察で、7つの議会から41人が参加し、先進事例の説明と現地視察を行いました。天童市子育て未来館 げんキッズは、入場無料で利用できることから全国的にも注目されている施設です。